



2023年4月に代表取締役社長に就任した吉村文宏氏。「毎年新入社員が5~6人入社し、若手が相談しやすい環境です。鳥取にICTの会社があることを知ってほしい」と呼びかける

3年から代表取締役社長を務める吉村文宏氏は、鳥取市に本社を置く「鳥取県情報センター」は、鳥取県内をはじめ全国の自治体や公的機関の情報システムをサポートするIT企業だ。主にITインフラの整備やシステム開発、導入後の運用保守などを手がける。

前身の「財団法人鳥取県情報センター」の設立は1969年。当時は高額だった大型コンピュータを鳥取県と県内39市町村（当時）の自治体で共同利用し、行政事務のシステム化の支援を目的に組織された。その後、これまで培ってきた経験やノウハウを生かし、全国へサービス展開するため2009年株式会社を設立。姫路支店、広島支店に続き、2025年4月には岡山支店も開設した。同社の自治体向けクラウドサービスは全国200団体以上が使用するほか、近年はマイナンバーカードを利用した証明書のコンビニ交付システムの導入・運用サービスの提供も増えている。

「自治体や住民の皆様が、便利で豊かな暮らしを築くための社会インフラの役割を担う重要な仕事です」と穏やかな口調で語るのは、2023年から代表取締役社長を務める吉村文宏氏だ。

株式会社化以降、事業の幅・量ともに順調な拡大を遂げ、社員数は160名を超える。「社員は会社の宝であり資本。この会社で良かった」とやりがいを持って気持ち良く働けるように、社員への投資は惜しみません」と人材育成や福利厚生の拡充に力を注ぐ。階層別研修や技術者向け専門研修、資格取得の受験料の助成など手厚い教育支援のほか、子育てや介護中の社員が働きやすいよう短時間正社員制度など柔軟な働き方を導入。育児休業については男性もほぼ100%取得しているという点から、誰でも働きやすい環境が整っていることがうかがえる。

社員は理系・文系問わず採用し、異業種からの転職も少なくない。「未経験からでも技術を身に付けられる教育体制を整えています。重要なのは地域や自治体の力になりたいという熱意。また、好奇心や探求心、人と誠実に向き合う姿勢などの本質の部分を重視しています」と求める人材を語る。

全国の大小さまざまな自治体のDX化が進む中で、需要はますます拡大している。半世紀以上にわたる自治体を支えてきた同社のさらなる飛躍に期待が高まる。



株式会社 鳥取県情報センター

●アプリケーション開発業務/インフラ構築運用業務 など



会社の中の様子が見える！オープンカンパニーを実施

2025年夏は大学2・3年生を対象とした《オープンカンパニー》を1dayと2dayの2回実施。開発系の仕事を体験できるもので、地元だけでなく他県の学生からも申し込みがあった。参加者は若手SEと現場を体験した。



会社から社員へ感謝を伝える周年イベント

会社の設立を記念して毎年周年イベントが企画されている。2025年は社長メッセージが入ったカードと食事を企画。イベントウィークとして豪華ランチや夜の「ほろ酔い会」などから選べるのも楽しい。他部署を越えた交流の場にもなっている。



社員に好評な福利厚生《OFFICE DE YASAI》

「会社の宝」である社員のために福利厚生の拡充に努めている。本社の近隣にコンビニがなく、また残業や雪の日など社員が不便を感じていたため、23年に設置型社食を導入。サラダやパンなどの商品がほぼ100円で購入でき、社員から好評だ。



スポーツや文化芸術など幅広い分野で地域に貢献

地域貢献活動として、山陰地方の複数のプロスポーツチームのスポンサーを務めるほか《鳥取しゃんしゃん祭り》への参加、《手話パフォーマンス甲子園》や展覧会、コンサートへの協賛など、スポーツや芸術、文化や福祉と幅広い分野の活動をサポートしている。

44
LEADING COMPANY

便利で豊かな社会のためにITで円滑な公的サービスを実現

自治体に特化した情報システムや情報通信インフラの提供を通じて、住民の便利な暮らしを支えるIT企業。自治体DXが進む中で、各自治体の状況に応じた細やかなサービスで全国に展開している。



株式会社 鳥取県情報センター

創業 平成20(2008)年12月16日
代表者 代表取締役社長 吉村 文宏
社員数 168名(男111名 女57名)
本社 鳥取県鳥取市寺町50

事業内容

アプリケーション開発業務、インフラ構築運用業務、自治体システム構築運用業務、クラウドサービス提供業務、コンサルティングサービスなど

勤務地(採用エリア)

鳥取市、米子市

採用区分

新卒採用 キャリア採用

インターンシップ・キャリア

有 詳細・申込は「とっとりインターンシップ」のホームページ参照。

採用担当者からあなたへ

私たちは「One Team for Partner」を合言葉に、お客様に真に喜んでいただけるサービスの提供を社員一丸となって行っています。研修・資格制度が充実しているので、文系理系問わず多くの社員が活躍中です！自由な発想でチームの活力となる方をお待ちしています♪



経営企画室
中村 衣織さん

採用に関するお問い合わせ先

0857-27-5070

公式サイトはこちら



とっとりインターンシップはこちら



1日のスケジュール



荒川さんのスケジュール

時短制度を活用しながらマネージャー業をこなす荒川さん。夫と協力して仕事と家庭の両立を図っている。

ソリューション推進部 マネージャー
荒川 汐里さん
2017年新卒入社(8年目)

8:30 出勤、朝礼
朝ごはんや子どもの保育園の準備をして出勤。朝の保育園の送り出しは夫が担当している。

8:45 プロジェクトの進捗確認・報告・共有
限られた時間内で効率的・集中的に仕事を終わらせるように、仕事に優先順位をつけてから業務に取りかかる。

9:00
メールチェック、他部署との協議、プロジェクト対応

12:00 昼休憩

13:00 プロジェクト対応
チームで分担して仕事を進めるなど業務の円滑化に努めている

15:00 プロジェクト全体進捗報告会議

16:30 退勤
業務後は保育園のお迎えへ。仕事も家庭も、人に頼れることは頼るようになったという。

13:00
社内で打ち合わせ



三橋さんのスケジュール

システム開発をしながらチームを牽引する三橋さん。お客様の要望を聞き取るための打ち合わせも多い。

ソリューション開発部 リーダー
三橋 佑介さん
2015年新卒入社(10年目)

8:30 出勤、チーム朝礼

8:35
システムの稼働チェック、打ち合わせの準備

10:00 お客様との打ち合わせ
お客様からの要望やお困りごとをヒアリング。打ち合わせはウェブ会議が多いが、必要に応じて訪問もする。

12:00 昼休憩(社外でリフレッシュ)

13:00
お客様や協力会社からの問い合わせ対応
システム開発というと、1日中パソコン作業をしているイメージがあるかもしれないが、社内外とコミュニケーションをとる機会は多い。

14:00 システム開発(プログラミング)

17:30 退勤
帰宅後は、愛犬と遊んでから早めに就寝。休日は愛犬と散歩を楽しんでいる。

10:00
お客様やチームと打ち合わせする機会は多い

14:00
お客様の要望に応えるためのシステム開発を行う

TIC(鳥取県情報センター)で働く仲間たち

事務系職種からリススキルを目指し転職!

前職は製造業の総務人事を担当していた濱田さんは、30歳を前に「リススキルしてみたい」という思いから、転職を決意。IT業界に興味を持っていたので、TICの会社説明会に参加した。そこで異業種からの受け入れ態勢が整っている事を知り、入社を決めた。入社前は業界の雰囲気や仕事の流れの予想がつかず不安もあったが、先輩社員に教わりながら仕事を覚え、現在は問い合わせ対応や、機器の更新、セッティングなどに従事している。「部署の人たちは話しかけやすく『わからないことをわからないままに

しない』という意識が根付いているので相談もしやすいです」と濱田さん。システムの更新などで忙しい時期もあるが、休みをしっかりと取得し、休日は趣味のゴルフや草野球を楽しんでいる。「休みだけでなく、社員旅行や互助会のサポートなど福利厚生が手厚くありがたいです」と話す。

IT技術者としてはまだ駆け出し。資格取得やシステムへの理解をさらに深め、ITスキルや運用保守スキルのレベルアップを目指している。



ソリューション推進部
濱田 和希さん
2024年中途入社(2年目)

知識や経験を積んで教える側に。自分発信にやりがいを感じる

大学院で情報系の研究に取り組んでいた、鳥取県出身の角脇さん。大学院の先輩から同社を教えてもらい、会社の安定性や地元のIT企業という点に惹かれて入社。現在は、自治体のグループウェアの開発と運用を担当する。「情報系の出身と言っても、ジャンルは異なるので基礎的な知識を生かしつつ、新たな技術スキルを身に付けるため勉強をしています」と研修や実務を通して日々学んでいる。「入社当初は先輩の指示や教えられたことをこなす日々でしたが、3年目から教える側の立場になることが増え

て、お客様と打ち合わせの機会も多くなりました。自分から発信することが増えて、やりがいも感じます」と着実に成長している。

エンジニアというと、長時間パソコン画面に向き合っているイメージが強いかもしれないが、お客様とのコミュニケーションの機会は多いという。「要望や困りごとを聞いて機能設計や改善案を提案します」と角脇さん。今後はインフラ知識もカバーしたいと業務の傍ら資格取得や勉強に励む毎日だ。



ソリューション開発部
角脇 永吉さん
2022年新卒入社(4年目)

文系学部から未経験で入社。案件を任せられるようになりました

中本さんは鳥取県出身。県外の大学に進学したが「長く過ごすなら鳥取がいい」と地元就職を希望した。文系学部だったが、IT業界は今後も発展が見込まれると考え、志望業種の一つとしていた。「理系のイメージでしたが、会社説明会で文系出身者も多いと聞き挑戦したいと思いました」と新卒で入社。ITインフラサービス部に配属された。「最初はとても緊張しましたが、皆さんとても気さくに話しかけてくれました」とすぐになじむことができた。現在の仕事はデスクワークがメイン。自治体のお客様からの問

い合わせ対応やサーバのチェックなどを行っている。お客様先で機器設置をすることもある。

職場の先輩は知識、経験ともに豊富な人が多く、わからないことがあっても誰かが答えをくれるという。研修などでも積極的に学び、今では後輩に教える機会や案件の担当を任せられることも増えてきた。「メンバーの進捗状況の確認や、お客様との調整などを円滑に回せるようになりたいです」と意気込む。



ITインフラサービス部
中本 らいらさん
2021年新卒入社(5年目)